

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

資料 4

秦野市地域公共交通計画の評価等結果（7年4月～8年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
①年間地域公共交通利用者数	鉄道4駅1日平均乗降者数 【目標値：令和10年度】 102,935人	【事業7】小田急線の利便性向上と利用促進 【事業11】交通結節点の機能強化及び待合環境の改善	事業者の有するデータを参照	【達成状況】 110,157人（令和6年度実績） 【分析】 目標値を7,222人上回った。	・令和6年度の実績は、目標を達成した。 ・次年度以降も目標達成に向け、運行事業者等と連携し、利用促進を図る。
	路線バス年間利用者数 【目標値：令和10年度】 7,230,000人	【事業1】路線バスサービスの維持及び利用促進 【事業4】運転手確保の取組 【事業11】交通結節点の機能強化及び待合環境の改善 【事業12】人にやさしい車両（バス・タクシー）の導入促進 【事業14】公共交通・観光情報の発信	事業者の有するデータを参照	【達成状況】 8,558,679人（令和6年度実績） 【分析】 目標値を1,328,679人上回った。	・令和6年度の実績は、目標を達成した。 ・次年度以降も目標達成に向け、運行事業者等と連携し、利用促進を図る。
	乗合タクシー年間利用者数 【目標値：令和10年度】 45,611人	【事業2】乗合タクシーサービスの維持及び利用促進 【事業3】タクシーサービスの維持及び利用促進	事業者の有するデータを参照	【達成状況】 51,372人（令和7年度実績） 【分析】 目標値を5,761人上回った。	・令和7年度の実績は、目標を達成した。 ・令和7年度は乗合タクシー沿線の自治会を対象に、利用実態把握を目的とした大規模なアンケート調査を実施し、地域のニーズを把握しつつ新たな運行方法について検討した。次年度以降は、地域協議会の立ち上げや、新ダイヤ等での運行を目指す。
②地域公共交通サービスの維持	路線バス系統数 【目標値：令和10年度】 57系統	【事業1】路線バスサービスの維持及び利用促進 【事業4】運転手確保の取組 【事業11】交通結節点の機能強化及び待合環境の改善 【事業12】人にやさしい車両（バス・タクシー）の導入促進 【事業14】公共交通・観光情報の発信	事業者の有するデータを参照	【達成状況】 57系統（令和6年度実績） 【分析】 目標値を達成した。	・令和6年度の実績は、目標を達成した。 ・次年度以降も目標達成に向け、運行事業者等と連携し、持続可能な系統の維持に努める。
	乗合タクシー地区数 【目標値：令和10年度】 4地区	【事業2】乗合タクシーサービスの維持及び利用促進 【事業3】タクシーサービスの維持及び利用促進	事業者の有するデータを参照	【達成状況】 4地区（令和7年度実績） 【分析】 目標値を達成した。	・令和7年度の実績は、目標を達成した。 ・次年度以降も目標達成に向け、乗合タクシーを維持するため、新ダイヤ等の検討に努める。 ・利用促進のため、乗合タクシーのPRに注力する。
③市民の地域公共交通の利用割合	鉄道利用者割合 【目標値：令和10年度】 85%	—	—	—	計画更新時の市民アンケートにより評価検証を行う。
	路線バス利用者割合 【目標値：令和10年度】 65%	—	—	—	計画更新時の市民アンケートにより評価検証を行う。
	タクシー利用者割合 【目標値：令和10年度】 45%	—	—	—	計画更新時の市民アンケートにより評価検証を行う。

④地域公共交通に係る行政負担額及び収支率	乗合タクシーの行政負担額 【目標値：令和10年度】 13,438,000円	【事業2】乗合タクシーサービスの維持及び利用促進	実績より	【達成状況】 15,776,000円（令和7年度実績） 【分析】 目標値より2,338,000円負担増となった。	・令和7年度の実績は、目標を未達成となった。 ・次年度以降も乗合タクシーサービスが持続可能なものとなるよう、新ダイヤ等の検討及び利用促進に努める。	
	乗合タクシーの収支率 （対運行経費） 【目標値：令和10年度】 35.6%	【事業2】乗合タクシーサービスの維持及び利用促進	事業者の有するデータを参照	【達成状況】 37.0%（令和7年度実績） 【分析】 目標値を1.4%上回った。	・令和7年度の実績は、目標を達成した。 ・次年度以降も目標達成に向け、乗合タクシーの収支率向上のため、新ダイヤ等の検討及び利用促進に努める。	
⑤地域との連携による取組	商業施設等との連携による導入件数 【目標値：令和10年度】 3件	【事業16】商業施設等との連携	事業者の有するデータを参照	【達成状況】 2件 （ピーちゃんスタンプ会、 おおねスタンプ会） 【分析】 目標値を1件下回った。	・令和7年度の実績は、目標を未達成となった。 ・目標達成に向け、引き続き、地域や商業施設等との連携を図っていく。	
	運転手確保策の実施回数 【目標値：令和10年度】 延4回	【事業4】運転手確保の取組	実績より	【達成状況】 適宜対応 【分析】 運行事業者等と協力し運転手確保の取組を行った。	・令和7年度は、県央やまなみ協議会（秦野市、厚木市、伊勢原市、愛川町、清川村）連携のもと、バス運転士募集に係る記事の掲載やTOKAIグローバルフェスタでのバス運転体験等に参加し、運転士解消に向けて啓発を行った。 ・次年度以降も引き続き、関係機関と連携して実施を検討する。	

（記載に当たっての留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「（〇年〇月～〇年〇月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「－」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。